



한청통신

韓 青 通 信

2009年7月号

今号のラインナップ：6.14 在日韓国人中央大会報告 / 6.14 在日韓国人中央大会参加者感想 / 全国活動報告 / 韓青 50 年史学習会レポート / 情勢 NEWS / 支部紹介「日々是はんちょん一大阪府本部布施支部」 / 今後の予定 / 編集後記

民生・民主・平和・統一！東京で決起！



6月14日、都内の韓国YMCA会館（スペースワイホール）で「盧武鉉大統領追悼 李明博政権の反民主・反統一政策に反対する在日韓国人中央大会」が開催され、大きな成果を勝ち取りました。韓青も主催団体の一員として、全国から集まった多くの青年・学生とともに、その成功に大きく寄与しました。

当日は2部形式で進行され、第1部は5月に逝去された盧前大統領の追悼式を、第2部は李明博政権の反民主的な強圧統治と戦争の危機をもたらしている反平和・反統一政策に反対する中央大会を行いました。

追悼式では、盧前大統領の国民葬の映像を背景に、盧前大統領と抗議の自決をした統一運動の元老である姜希南牧師ら、李政権下での多数の犠牲者たちに黙祷を捧げ、その遺志を継承していきました。

中央大会は、愛知県本部による躍動感あふれるキルノリ（民族楽器演奏）で幕を開け、各地で展開してきた「民生・民主・平和・統一のための100日間

運動」の記録映像上映の後、孫亨根韓統連議長の挨拶がありました。また連帯挨拶や参加者からの決意表明を受け、「盧武鉉大統領の遺志を継承し、民生・民主・平和・統一を実現しよう！李明博政権の統一運動団体への弾圧を阻止し、6.15 共同宣言を实践させよう！日本政府の対北制裁措置を解除させよう！」という決議文を全体で採択しました。

その中で私たち韓青は「民生・民主・平和・統一！われらは統一新世代」というテーマで、映像と寸劇、民族楽器演奏、ノレ（歌）と律動を盛り込んだ文化公演を行ないました。

この日にむけて各地方で事前に練習を重ねてきましたが、全体でのリハーサルは当日の本番前しかなかったため、参加者は非常に緊張していましたが、「私たち青年こそが統一新時代をきりひらいていくんだ」という決意にあふれた文化公演は、会場の雰囲気大きく盛り上げました。

大会後は民主回復と反戦平和、統一を訴えるために街頭に飛び出して、都内をパレードしました。パレードでは各支部でさまざまに工夫を凝らして準備した横断幕、プラカードなどを掲げ、道行く人々にアピールしました。

パレード後は交流会を開催し、中央大会で新たに提起された第2次100日間運動の実践に向けた決意を共有していきました。

※次頁から参加者感想文を掲載しています。

6.14在日韓国人中央大会 感想文



6.14 在日韓国人中央大会を経て、全国の仲間たちからアツイ感想文が届きました。あたかも集会の熱気が紙面から溢れ出るようです。

東京本部 チェ・ダンヨル

韓青を知り、色々参加して2年になりました。今年5月から荒川支部の盟員として正式に参加するようになりました。今年5月、韓国では重大な事件の連続でした。ロウソクデモの一周年記念の集会で去年の悪夢の繰り返しのよう、李明博政権の暴力的な鎮圧はとどまることを知らず、政権の立法権力の濫用による事実上の集会禁止の法律などによって、去年のデモに比べてロウソクの灯火の数は減ったように感じました。明らかに戦闘警察の与える市民たちへの恐怖は去年よりも増して我々に見せつけました。防御シールドを横に持ち替え、角で市民の体を突き、倒れた市民の頭を蹴りながら、、

私は、5月中旬に韓国に訪れていましたが、5・18を前後して「貨物連帯」が不当な扱いを続ける財閥企業と官憲に対して激しい抵抗と闘争を繰り広げていました。また、私は17日光州を訪れました。その理由は、民主化闘争と市民的抵抗による犠牲者の方々の追悼とその精神を継承しようという私のささやかな願いのためでしたが、私は5・18国立墓地の追慕館で見てきたことや民主労働党主催の記念集会を見て、その人々の多さにただ驚くばかりでした。いや、韓国の運動圏では当たり前かも知れませんが、それでも日本の市民運動に比べて、その圧倒的な数にただ感動するしかなかったです。

いや、冷静に考えて見ると、むしろ、今の状況が、民衆にとって最悪な状況であると物語っているのではないかと思います。だから、このように過去の民主化運動の悲しい歴史とその精神を忘れないように、良心的な市民、学生や労働者、運動家など一丸となって連帯しようとしていたと感じました。しかし、その一週間も経たないうちに韓国史上もっとも衝撃的な事件が起きました。それは盧武鉉前大統領の自殺でした。それは言い表せないほどの衝撃と悲しみがありました。その次の週に国民葬が行われましたが、何と60万人の人々がソウルの街頭に集まりました。今年に入って一番の動員力を示した集会は皮肉にも国民に一番愛されたにもかかわらず、現政権で苦しめられ、自らの命を落とした盧前大統領の死を追悼する集りでした。街頭を盧武鉉前大統領のイメージカラーである黄色で埋め尽くされた光景は、そのまま韓国市民の民主主義への想いを反映していました。その頃私はちょうど日本に帰って来て、6.14の大会に向けての劇の準備をしていました。正直、僕は若い韓青の青年役でそれほどの思い入れもなく、ただ完璧に与えられた役のセリフを覚え、演じようと本番当日を迎えました。しかし、会が始まり実行委が準備してくれた映像を見て、盧武鉉前

大統領の追悼のための朗読の時はもう涙が止まらず、嗚咽していました。

2009年5月、私は今までこれほど熱く悲しみに満ちた韓国を知りませんでした。この李明博政権が始まり、昔の維新体制のように圧倒的暴力と資本主義の圧力がこれから多くの韓国民衆を苦しめる前触れとして若い戦闘警察の無慈悲な暴力により次々と倒れる市民の姿が重なり、何とも言えない思いがこみあがったのです。

これから政権への一切の抗議も抵抗も許されず、権力とマジョリティ（多数派）に追随し、従属的に生きることを強要され、飼い慣らされたあげく、民族の悲願である民生、民主、平和、統一ははかない夢のまた夢として、主体性を無くして資本と権力に隷属化されてゆく民衆の姿が目に見え、私はあの衝撃的な韓国の現状を見せられた後、劇の中でその想いを何とか形にしたい、長いアドリブを入れてしまいました。共演者やスタッフには迷惑を掛けてしまいましたが、これから日本にいながらも祖国統一と韓国、日本の民主主義を守りたい私の心意気であると考えて欲しいです。デモ行進の後、「一人ひとりの一歩はそれぞれ小さなものだけど、日本の友人たちとともに東アジア民衆のための民生、民主、平和実現の足掛かりとして大きな一歩である」と確信しました。私も韓青活動を軸に、これから抵抗と民主主義のために寄与したいと強く考えます。

京都府本部 イ・ヤンイル

5月に自殺という不幸な形でこの世を去った盧武鉉前大統領のことが頭から離れません。私自身、盧前大統領に強い思い入れがあるわけではありませんが、先に京都で催された追悼式で目にしたむせび泣く留学生の姿が深く印象に残っています。報道で知った国民葬の模様とともに、いかに盧前大統領が人びとから愛されていたかを実感したものでした。

ご存じのように現在、韓国では保守政権への反発が日増しに強まっています。言論の自由、集会・結社の自由が危機に瀕するなかで、それを回復させようと体を張る無数の人びと。また、ソウル大学では100人をこえる教授が韓国内での民主主義の後退を懸念して、時局宣言を出したそうです。国民葬に多くの人びとが駆けつけたのも、現状への不満があったからに違いありません。しかし、日本で普通に生活していると、これらは現実感を伴わない他人事に過ぎなくなります。事実、北朝鮮をめぐる各国の駆け引きばかりが注目されて、反動化に恐怖する隣国の人びとの姿は見向きもされません。

そんなことを考えながら先日、新聞を読んでいると景気のよい全面広告が目にとまりました。ドラマ『チャンギムの誓い』をモデルにしたパチンコ台が出るらしく、妙な感じがしたものです。韓流ブームはそれ自体素晴らしいことだと思いますが、北朝鮮をめぐる小馬鹿にしたような報道と同様、わかりやすい出来事ばかりに目を奪われ、そのせいで行き場を失った出来事があることも事実です。

李明博政権の反動的な政策の転換を求めるプラカードを掲げ、シュプレヒコールをあげながら東京の大通りをねり歩く一団は、周囲からすれば奇異に映ったかもしれません。しかし、それでも私は、あふれる情報のなかでなにが見落とされているのか、冷静にみきわめ、その上で熱く主体的に行動すること。そうした地道な努力の積み重ねによって始めて、私たち、そして盧前大統領が願った南北の平和統一が実現に近づくのだと今回、あらためて胸に刻みました。

活動紹介



統一マダン生野

6月7日（日）、第16回統一マダン生野を開催しました。新型インフルエンザの影響で各地のイベントが中止や延期になる中、議論に議論を重ねた末「予定通り開催しよう！」と決定し、開催された生野マダン。当日は晴天に恵まれ、たくさんの来場者で会場は大盛り上がりでした。



今年の生野マダンは、○南北・海外同胞が団結し、祖国統一を実現しよう！○6・15 共同宣言を支持し、記念日に制定しよう！○10・4 宣言履行で、南北の共存・共栄を！○統一マダンから築こう、和解と平和の時代を！をスローガンに、地域で活躍するグループや、民族学級・民族学校の子どもたち、そして国内からブンムルグッペ「ソリキョル」や「北側オリニ栄養パン工場」のメンバーが出演してくださり、多種多様な舞台発表やアピールが披露されました。そして、今年の実行者企画は「統一列車に乗ろう！」と題して、手作りの京義線（キョンイソン）に子どもたちを乗せて会場をまわり、南から出発した列車と、北から出発した列車が38度線で交わるという演出をしました。子どもたちの笑顔で、統一マダンに来た人たちには少しでも統一の素晴らしさや重要性を感じてもらえたのではないかと思います。そのほかにも、毎年恒例の「統一玉入れ」などがあり、最後は「ソリキョル」の迫力あるブンムルが披露され、会場がひとつになって群舞を踊り、「ウリエ ソウォヌン トンイル（私たちの願いは統一）」を合唱して統一マダンの幕は閉じられました。

16回を数える統一マダン生野ですが、在日同胞の統一への想いはそれほど切実でたゆみないものなのです。南北関係がどんどんと深刻になっていくなか、こうして日本の地で、在日同胞が祖国の人々、そして地域の日本の方々と力を合わせて統一マダンを作り上げることの意義は大きいと感じた今年の統一マダンでした。

パン工場兵庫事業本部結成式

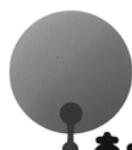
去る5月10日（日）、「北側オリニ栄養パン工場兵庫事業本部結成の集い」が、JR新長田駅前の新長田勤労市民センターにおいて、第13回統一マダン神戸のプレイベントとして開催されました。

会場には、韓国事業本部の来賓4名（李美恵パン工場事業本部長、孫美姫同副本部長、朴キルサン運営理事、カン・スリン運営理事）をはじめ、活動に共感する同胞や、多くの日本人の方々が会場に詰め掛けました。

集いでは、パン工場事業紹介のDVDを鑑賞したのち、兵庫事業本部の結成が宣言され、崔相徳氏（統一マダン実行委員）が本部長に、李俊一・韓青兵庫県本部委員長が執行委員長に選出されました。続いて、孫美姫副本部長より「北側オリニパン工場運動の意義」と題した記念講演が行われ、地域における統一運動として熱誠的に会員拡大をおこなっていく決意を共有しました。

韓国語教材専門インターネット書店

ハングルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

江戸牛焼

か ら や
甘 楽 屋

休日：土・日・祝

営業時間：11:30～14:00 / 17:30～23:30

電話：03-3581-8585

韓青史学習会

— 全国行脚レポート —



組織誕生 50 周年である来年を控え、韓青全国では「韓青史学習会シリーズ」を一斉に開催しています。今年の 4 月から月 1 回のペースで開催しているこの学習会は、中央本部から文世賢委員長と朴明哲文教部長が講師として各本部を飛び回り、韓青の先輩方が闘ってきた誇らしい歴史を学びながら、その当時の祖国情勢や世界情勢、在日同胞を取り巻く構造について学んでいます。そして何よりも、講師陣は“韓青魂”を若い後輩たちに伝えようと、どの活動に比べても必死に（?）、熱をこめて韓青を語っています。

第 1 回（4 月）は、解放直後に米国の覇権主義が東アジアを席卷する中で、李承晩独裁政権に牛耳られてしまった在日韓国人の青年運動を、4 月革命の喚声とともに独裁勢力との熾烈な闘いの末に「在日韓国青年同盟」の誕生が勝ち取られた経緯を学びました。第 2 回（5 月）では、朴正熙軍事独裁が米国の意図を忠実に執行し、在日同胞社会にも露骨な介入を強める中、韓青が民団良心派とともに在日同胞の権益擁護運動や民団内の民主化を求める闘いを展開してきたことを学びました。第 3 回（6・7 月）では、朴正熙軍事独裁が自身の体制を強化していく中で、7.4 共同声明の支持集会、民団東京・民団神奈川の奪還闘争、鎮悪鬼公演、各種の映画上映会、3.1 民主救国宣言の 100 万人署名運動、韓民統の結成、金大中救出運動、韓民連の結成などなど、70 年代の数多くの一つ一つの闘いの情勢的な意味を学びました。

今後は、①光州民衆抗争から始まる 80 年代の反外勢民族自主化闘争 ②90 年代の汎民族大会（三者連帯運動）③2000 年代の 6.15 時代と自由往来時代の韓青 — を学んでいく予定です。

参加者たちの多くは、当時の世界情勢も祖国情勢もあいまいな知識しかなかったものの「ウリ組織・韓青」の偉大な先輩たちの姿勢を通じて、この韓青運動の意義を体系的に学ぶ機会となりました。「民族正義を持ち続けることこそが世界と時代の主人公でいられることがわかった。」このような感想も全国のあちこちで聞かれました。特に、韓青の基本精神が誕生から現在に至るまで一貫して貫き通されていることに、参加者たちは大きな感動を覚えました。

講師陣は「若かったボクらが当時の先輩方から 40 年を学ばせてもらった。50 年までの韓青の歴史を語るのはボクらの責任であり、義務だが、次は若い後輩たちが 60 年の歴史を語れるような『韓青人』になって欲しい」と、この学習会へかける思いはひとときわ輝いています。



韓青全国で「韓青 50 年」をしっかりとかみしめながら、来年の 50 周年を本当に意義深いものにして、より発展させた「韓青 60 年」「韓青 70 年」「韓青 100 年」を作っていきたいという意欲の高まる「韓青史学習会」の様子を報告させていただきました。

今後は、この紙面で学習会に参加した盟員の感想などを紹介したいと思っています。



情勢NEWS

＜高まる反李明博の声は 第2の6月民主抗争＞

政権発足以来、反民生・反民主・反統一・反平和の政策を推し進め、韓国社会をかつての独裁政権時代へと回帰させてきた李明博政権に対して、まるで87年の6月民主抗争前夜のように韓国民衆が立ち上がっています。

6月3日にソウル大学教授124人が「時局宣言」を発表したのを皮切りに、全国の20を超える大学教授らが4,000人以上、全国の総学生会、文学者88人、仏教僧侶108人、弁護士と法学教授ら875人、映画人224人、全国の教師16,000人以上、市民社会団体、米州や欧州などの在外同胞団体など、各界各層から相次いで「時局宣言」が発表されています。

彼らは、盧武鉉前大統領の死に対する李明博大統領の謝罪、国政の刷新、三大危機（民主主義の危機、南北関係の危機、庶民生活の危機）を国民の意思にしたがって国民とともに克服するよう要求しています。

10日にはソウルで「6月抗争継承 民主回復汎国民大会」が開催され、野党と市民団体、大学教授、法曹界、知識人、宗教団体から、5万人以上が参加しました。また、釜山、大邱、蔚山、光州、大田、全州、清州、春川、天安など全国でも一斉に開催されました。

ここでは「大統領の謝罪と強圧統治の中断」「総体的で根本的な国政基調の転換と反民生・反民主悪法の撤回」「金持ち偏重政策の中断と庶民生活の保障の最優先」「南北間のあらゆる衝突・交戦の反対、南北間の平和的関係の回復」の4大要求を明らかにし、盧前大統領の四十九日となる7月10日まで全国民署名運動を行うと決議文を通して発表しました。

14日には「6.15共同宣言9周年 汎国民実践大会」



が開かれ、民主党など野党4党の議員や学生、市民社会団体など2,500名が参加しました。

この席でキム・サングン常任代表が李政権の対北政策の転換を求めると、野党各代表者からも李明博政権の対北政策への批判発言が相次ぎました。

民主労働党は代議員大会（6/21）で、現政権を「独裁」と規定して「李明博独裁政権退陣」の方針を公式化しました。これは現政権下で初めてのことです。

このような厳しい国民の声に対して、李明博政権はその声に耳を傾けるのではなく、相も変わらずその声を封殺しようとする暴挙に出ました。

6月17日には、国家情報院が釜山地域の「6.15共同宣言発表9周年行事」で北側の祝電を朗読したことに対し「国家保安法」違反疑惑として常任代表ら3名に出頭を要求しました。これは、統一部に申告して合法的に進行したものであり何の非法性もありません。6.15宣言が発表されてから、今回のような件で「国家保安法」違反を適用したことは初めての暴挙です。

7月3日には、警察が全教組の本部事務室を押収搜索しました。これは教師たちが発表した「時局宣言」（6/18）に対する報復にほかなりません。

国内の民衆は「第2の6月抗争」に立ち上がったと言えます。私たちはそのような国内同胞と手をたずさえ、韓国の民衆が勝ち取ってきた民主主義の後退を許さず、6.15共同宣言、10.4宣言の履行を通じた南北関係の改善を推し進めていく闘いを展開していく決意です。

日々是はんちゃん 全国支部紹介

Vol.7 大阪府本部 布施支部

韓青通信をご覧の皆様アンニョンハセヨ？今回は、大阪府本部布施支部の紹介をさせていただきます。にぎやかな布施支部の様子を想像しながらご覧になってください。

韓青大阪・布施支部は、昨年11月に引越して、もう半年以上になります。布施とは、大阪の中にある東大阪市の地域の一つで、日本全国での在日同胞密集地としては、ざっと4位くらい？であります。

☆月1回の水曜日には・・・

布施支部は、ウリマル授業後の連絡時間に、月一回読書リレーというものをしています。この読書リレーとは、支部のメンバーがお勧めの本を一冊紹介するコーナーです。その紹介した本の内容と感想を述べた後に、次のメンバーを指名します。活字離れしてる青年たちが増加してる中で、読書リレーを通して本を読む習慣を身につけ、自身の意識や思想などを向上するために始めたものです。もうかれこれ15年以上も経ち、布施支部独自の伝統と言ってもいいくらいのコーナーです。近年では、本以外に、最近観た映画や、新聞の切り抜き、DVDなどの紹介もあります。

☆支部の仲間の特徴

布施支部に集まる人間は、とにかく昔から、個性的なキャラが勢ぞろいであります。よく言えば、のんびりでアットホームな（悪くいえば、グータラで、少々羽目外すことがある）雰囲気です。ウリマル授業が終わったあと、ティータイムしながら、仕事やお笑いの話などで盛り上がります。とにかく、よく笑い、よく呑み、よく食べる、とても愉快で、愛らしい仲間たちでもあります。

また、仲間の誕生日が近づくにつれて、みんなでサプライズとして、誕生祝いをしたりもします。ちなみに、写真撮影のときには、変顔で写ることも、欠かせません。（笑）

だからこそ、この支部を一言でいうと！一番、「素」のままでいられる空間です。

そんなアットホームな布施支部を、アプロド チャル プタカゲッスムニダ～♪



炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛楊鳥～

〒108-0014 港区芝 5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

（各階40名様まで）

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝 5-23-10
TEL & FAX 3452-0061

第 43 回全国統一夏期講習会開催！！



早いもので、今年ももう 7 月になりました。夏真っ盛りですね。夏といえばそう！韓青サマーキャンプ(夏期講習会)の季節です！今年は東日本、中日本、西日本の 3 地域で盛大に行います。開催日程等詳細は以下のとおりです。

地域	開催日程	場所	参加費
東日本	7月18日(土)～20日(月・祝日) ※18日の夜9時に集合(前夜祭)	千葉県・岩井海岸	18,800円 (高校生は16,800円) ※盟員登録者は1,000円引き
中日本	7月25日(土)～26日(日) ※25日の朝8時に集合	愛知県・美浜海岸	8,500円 (高校生は7,500円) ※盟員登録者は1,000円引き
西日本	7月31日(金)～8月2日(日) ※31日の朝8時・9時・10時に 京都・大阪・神戸に集合してバス移動	岡山県・渋川海岸	18,000円 (高校生は16,000円) ※盟員登録者は2,000円引き

今年も若さ溢れる在日同胞青年の力で、在日同胞青年同士の民族的で自由な空間を参加者一同で創り上げたいと思います。報告に関しましては次号にて掲載いたします。まだまだ参加者募集中ですので、興味のある方はご連絡をお願いします。⇒ [TEL 0120-734-101](tel:0120-734-101)(サマーキャンプ受付)

各地で統一マダン開催！

【第 16 回統一マダン東京】

日程:2009 年 8 月 9 日(日) 16～20 時(雨天決行)

場所:荒川・旧真土小学校(雨天時は同校体育館)

【第 13 回統一マダン神戸】

日程:2009 年 9 月 27 日(日) 11 時～17 時(雨天決行)

場所:JR 新長田駅前広場



第 16 回統一マダン東京ピラ

PICK UP! 8.15 記念の集い

今年も 8.15 記念の集いを全国にて行います。場所は東京・神奈川・中部(愛知・三重)・京都・大阪・兵庫・広島で開催しますので、詳細は各地の韓統連・韓青にお問い合わせください。

編・集・後・記



6.14 中央大会からバスに揺られ帰っていくとき、先輩方のお話が思い浮かびました。「自分たちが現役のところは、バスに揺られてしょっちゅう東京に集会に行っていたよ」と。いまから数十年前、悪辣な軍事独裁政権が席卷していた時代から、私たち韓青は、ずっと祖国と民族のために闘い続けてきたんですね。そのことを改めて思い出し、この場にいることに対して少し誇らしい気持ちがわいたのです。(李)